

【オリコンサルHD 差別化進め事業拡大】



差別化進め事業拡大

オリコンサルHD

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは4日、第35回定例会を開いた。写真。東京都渋谷区の本社会議室を本会場に、ビデオ会議ツールとストリーミング配信を

併用したハイブリッド形式で開催し、約600人のグループ役員が参加した。

定例会は、同社の2030年ビジョン・中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」「人材確保・育成」をグループ全社が一丸で推進するための場と位置付けている。今回は、グループ各社から重点化プロジェクトの取り組み6件の発表があり、成果と今後の展開を情報共有した。

出席した役員によるインターネット投票の結果、最優秀賞に齋藤美花さん（エイテック）の『360度カメラ搭載ドローン及びボールカメラ

による水管橋点検支援技術』、優秀賞には門司崇宏さん（オリエンタルコンサルタンツグループ）の『インドネシア国革新的技術を活用した循環式陸上エビ養殖による高付加価値化事業』と、小川達也さん（リサーチアンドソリューション）の『防災分野におけるSOCOCAの活用と今後の展開について』が選ばれた。

最後に野崎秀則社長は、発表されたプロジェクト6件について「30年ビジョン・中期経営計画の革新・変革・挑戦の三つの基本戦略が着実に進んでいることが実感された。各社の技術・サービスの差別化をさらに進め、実績を積み重ね、ブランド化を図り、事業拡大につながるように展開してほしい」と呼び掛けた。